

教育
分野

令和3年度 東京都女性活躍推進大賞



国立大学法人 東京医科歯科大学

東京で輝く、
自分らしく。



地域と連携した独自の両立支援制度を構築し、教職員のキャリア継続を支援

取組内容

【トップ主導の取組推進・意識醸成】

- ・学長によるダイバーシティ & インクルージョン推進宣言の表明により、女性上位職登用制度の創設をはじめとする男女平等参画の取組や意識醸成を促進

【就業継続・研究活動支援】

- ・子供の一時保育等の援助を必要とする教職員と援助を行いたい地域住民のマッチングを行う独自の「地域ファミリーサポートシステム」を構築
- ・医学的知見を活かした「安全対策チェックシート」を整備しコロナ禍も活動を継続
- ・キャリアアップを目指しながら出産・育児、介護や健康上の理由で継続が困難な女性研究者支援のため研究支援員を配備

【学外への波及活動】

- ・女性研究員の研究の実用化を促進するため、産学連携の共同研究を支援



女性上位職登用制度記念式典



リーダーシップ向上セミナー



【設立】昭和3年10月

【代表者】学長 田中 雄二郎

【職員数】4,556人(女性2,767人、男性1,789人)

【所在地】文京区

【事業概要】医学部、歯学部、教養部、大学院2研究科、2研究所、病院を有する医療系総合大学

背景・経緯

- 多様性のある研究環境から生まれる研究成果を社会に還元することを目指す中、女性研究者の離職率の高さや上位職比率の低さが課題となっていたことから、改善に向けた取組を開始



効果

- 女性研究者の離職率 2014年度から2020年度にかけて3.1%減少
- 女性研究者比率 23.0%(2014年度) → 27.5%(2021年度)
- 科学研究費補助金採択件数の女性率 上位40機関中1～3位を維持(2014年度以降)
- 地域ファミリーサポートシステムは教職員の就業継続支援のほか、地域住民の育児能力向上にも寄与